



そこで、イエスは、その人だけを群衆の中から連れ出し、その両耳に指を差し入れ、それからつばきをして、その人の舌にさわられた。そして、天を見上げ、深く嘆息して、その人に「エパタ。」すなわち、「開け。」と言われた。すると彼の耳が開き、舌のもつれもすぐに解け、はっきりと話せるようになった。(マルコ 7:33-35)

発行/日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団  
ろう者伝道部  
〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20  
TEL 03-3918-5935  
発行者 井桁正巳  
編集者 五島靖子

## 「一粒の麦」

三滝グリーンチャペル

郡 美矢 副牧師

「一粒の麦がもし地に落ちて死ななければ、それは一つのままです。しかし、もし死ねば、豊かな実を結びます。」(ヨハネ十二章二十〜二十六)

過越の祭りに礼拝のために多くの人々がエルサレムに上京してきました。その中にギリシヤ人も何人かいました。そのギリシヤ人がピリポとアンデレに頼んで、イエス様に会いたいと願います。ところが、イエス様はこの願ひとは全然関係ない別の話で、「栄光を受けるその時が来た」と答えました。「栄光を受ける時」とは、十字架において罪の贖いをし、復活によって死とよみに勝利する時です。

更にイエス様は、その十字架の意味を「一粒の麦」のとえによって話されました。種が地に落ち、そのままだと芽は出てきませんが、それが砕ければそこから芽が出て、多くの実をつけることができます。最初の一步は誰か犠牲が必要です。でもそれによって道が開かれれば、あとに続く人の未来も開かれる。「そんなこと無理だ、無理だ。」といくら叩かれ、砕かれようとも、最初の一步を踏み出す人がいるからこそ、次に続く人たちに道が開かれて、多くの実を結びます。

イスラエルとは何の関係もない異邦人であるカナンの女(マタイ十五章二十一〜二十八)は、イエス様を、イスラエルの民の救い主と認め、救いを求めてやって来ました。「主よ、ダビデの子よ、



わたしを憐れんでください。」と叫びましたが、イエス様は、この女性の願ひを三度にわたって拒絶しました。無視され、「イスラエルの家の失われた羊のところには遣わされていない。」「子供たちのパンを小犬にやるわけにはいけません。」と拒絶されました。最後に犬呼ばわりされて本当なら悔しいはずなのに、彼女は、「小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただくのです。」(二十七節)と答えました。

自分がイエス様の救いの恵みにあずかることなど本来できない者であることを、はっきりと知った上で、それでも彼女はイエス様に救いを求めました。イエス様はこの彼女の言葉を聞いて、「婦人よ、あなたの信仰は立派だ。」と言われました。「立派だ」と訳されている言葉は、ギリシヤ語で「メガレー」つまり、「メガ」本来の意味は「偉大、すごい、立派」と言う意味です。

私たちは今、その恵みの中に置かれています。全くふさわしくない、何の権利もない私たちが、イエス様の恵みの「おこぼれ」にあずかり、苦しみの中にあっても、イエス様の模範に従い、明るさと、落ち着きと、ユーモアを失わずに、イエス様の御言葉を語り伝える者として歩んでいきましょう。



### ろう者信徒聖書学校 報告

ろう者信徒聖書学校が、二月十一日(日)〜十二日(月)の二日間、大阪市立青少年センター(ココプラザ)において開かれました。今回は「旧約概論」と「聖霊論」で、担当は井桁正巳先生と瀬古慎二先生でした。ろう者信徒聖書学校の合格者は次のとおりです。

#### 【旧約概論】

- 藤木 真美 (小岩)
- 平林 昭 (明石)
- 古川 公子 (阿南)
- 坂井 光次 (明石)
- 【聖霊論】
- 藤木 真美 (小岩)
- 古川 公子 (阿南)

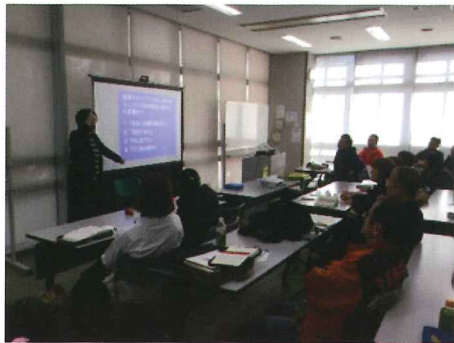
### ろう者トレーニング

#### スクール報告

ろう者信徒聖書学校と並行して、ろう者トレーニングスクールが開催されました。参加者は四〇名。講師は郡美矢先生(広島基督教会)三滝グリーンチャペル手話礼拝担当牧師、ろう者

聖書学校講師、ろう者伝道部部員)でした。初日の聖会(同師)に続き、二日目は講義で「目からうろこ」新約篇」のテーマの下、教会生活を送っている一人ひとりが日ごろから疑問に思っていることを取り上げ、分かりやすくユーモアを込めて語ってくださいました。

写真を見てお分かりのように、出席者は講師の話に引き込まれ、語られる言葉のひと言ひと言に、まさしく「目からうろこ」が落ちる体験をしました。



#### トレーニングスクールの感想

明石キリスト教会

山本 美代子

「わが子よ。私のことばをよく聞け。私の言うことに耳を傾けよ。それをあなたの目から離さず、あなたの心のうちに保て。」

見いだす者には、それはいのちとなり、その全身を健やかにする。」箴言四章二十〜二十二

ハレルヤ!!! 主の御名を崇め賛美いたします。二月十一日〜十二日、大阪市青少年センターでのトレーニング・スクールに参加しました。「目からうろこ」のテーマで、郡美矢先生が分かりやすく、お話し下さり、学ぶ事ができ、心から感謝します。

旧約、新約聖書の歴史と、また人名について、深い意味があることを知り、多くの事を教えられました。まさに「目からうろこ」でした。聖書のことばを読んで祈るだけでなく、み言葉から悟る真理は私自身の霊的な力となりますので、もっともつと真理を知りたいと思います。先生方が語られる御言葉を通して、互いに支え合い、励まし合い、主のためにこれからも福音を伝えていきたいと願います。

### 証のコーナー

#### ろう者伝道師となつて

明石キリスト教会

田辺 敏治

「わがたましいよ。【主】をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。」詩篇一〇三章二節

今日までの、計り知れない神の大きな恵みを、心から感謝します。ろう者伝道師となつて、はや十年。主に支えられながら、働きながらの伝道奉仕を、させていたれています。

右も左も分からず、四苦八苦の毎日でしたが、今日までの歩みが守られてきたことは、ただただ、主に感謝するのみです。

私は必ず話すことがあります。聖書に出てくるペテロという弟子が大好きです。何の学歴もなかったペテロに、主は目を留めて下さり、彼は「わたしについて来なさい」という主のお言葉一つに、従っていききました。色々な弱さ、試練に会い、時には、逃げ出してしまったペテロでしたが、聖霊のお力を受けた時、主の証人として変えられていった姿は、日々私にとっての慰めであり、励ましであります。現在は、明石と伊丹伝道所で、礼拝奉仕をさせていただいてい



ます。兄弟と共に御言葉を悟り、祈り合い、支え合い、これからも変わらず良くして下さる主に期待しつつ、更に前進していきたいと願う毎日です。長い間凍結されていたろう者神学校にも、年々入学者が与えられ、感謝です。多くの兄弟達が、主の器として用いられていくことを、お祈りしています。

**トレーニンゲスクールの感想と証**

**門真キリスト教会**

田中 津江子

ハレルヤ、主の御名をほめたたえます。二月十一、十二日、大阪でろう者トレーニンゲ・スクールに泊まりがけで参加した事に感謝します。郡先生は、御霊と共に、手話で御言葉を語られたので、多くの事を学び、目からうろこのたとえのように理解できました。御言葉を少しずつ、蓄えて覚えていきたいと思っています。

さて、証をしたいと思います。去年、主人は重い病気のために三月十日に亡くなりました。主

人が消えたように感じて、とても悲しい気持が一杯で、涙があふれました。主人は、本当に病気があったとは思いませんでした。主人は結婚前に、私の悩みを聞いて理解してくれ、信仰生活が幸せだと思っていました。主人は、今まで元気で、毎週日曜日、教会へ礼拝に行つて、喜んで奉仕していました。

主人は、召される前に、意識があつて、いろいろなお話をすることができました。また、主人が入院している時、私にメールをくれて「・・・家族を愛している・・・」との事でした。

牧師、ろう者の牧師、伝道師、皆さん、お世話になりました。本当に心からありがとうございます。友人からクリスチャンが召された事を聞いて、本

当に驚きました。でも神様の御心があると思います。皆さん、いつも神様の御心に従えるように頑張つていきましよう！

**私を変えて下さる主**

松山神愛キリスト教会

梅村 冴子

「主を恐れることは知識の初めである。愚か者は知恵と訓戒をさげすむ。」 箴言一章七節

主の御名をほめたたえます。聖書は今生きるために必要な基本的な事を学ぶことができるものです。人生の生きがいです。空しい人生から、平安と喜びの人生に変えてくれると言うことが、分かつてきました。それは、主からの恵みです。自分の力はありません。主に信頼する者は、人生が安定します。主は祈りにも応えて下さいます。だから、心に平安が与えられます。信仰を持つていても、罪を犯すことがあります。主が赦してくださることに感謝します。お互いに赦し合う事が出来る事に感謝します。

**私の信仰と趣味**

松山神愛キリスト教会

山中 和明

「神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に合わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます。」

一コリント十章十三節

キリストを信じる前のことですが、何の趣味もなく一人で行動する事が多かったです。二十代後半に、初めてコンパクトカメラで風景を撮りました。思った以上に、良い出来の写真が撮れるので、自信がつき、もつといい写真を撮りたいと思いはじめました。そこから、写真を趣味に

創価学会会員の友人に誘われて、写真サークルに入会しました。同時に創価学会にも入会しました。しかし、座つて、お題目を唱えることは、苦痛でした。一年過ぎて、退会しようと思つていた頃、タイミング良く、新

居浜福音キリスト教会の先輩が

2018年  
日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

**全国ろう者聖会**

「御霊による祈りと宣教の前進」～一つになって～  
エペソ6:18



聖書めぐみキリスト教会牧師  
日本AG教団ろう者聖会学校講師  
武藤信夫師

日程 8月13日(月)～15日(水)  
会場 新大阪江坂東急REIホテル3F

主催 日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団 ろう者伝道部



私の所に来て証をしてくれました。先輩と意見が合わず、反論する事もありましたが、先輩の熱意に押されて、次第にイエス様を信じるようになりました。

その後、私はきっぱり創価学会を退会し、同時に教会に行き始めました。クリスマスチャンになっても、写真サークルには、サークルが解散するまで通ってました。解散した後は、一人で写真を撮りにあちこち行くようになりました。神様が見守って下さって、事故にも遭わず、また、神様が写真の技術を上達させて下さっている事に感謝します。今年ホテルを撮りに行きました。



初めて合成編集を行いました。思った以上に良い写真が出来ました。写真の上達の秘訣は、プロが撮った写真の情報を、真似ることです。少し前、岡山備中松山城の雲海を撮りました。そこは、駐車場から展望台までは徒歩一分の所で、山を登るのが苦手の人にはオススメの所です。



### 救いの証

四万十キリスト教会

大森 たかみ

まず始めに「私は、罪人の頭である」と言いたい。罪赦されて、今を生かされてあることを、主に感謝したい。二十三歳の時

に、献身を表明してから、現在六十三歳で再献身表明。実に四十年の歳月が流れてしまった。この年月の流れは決して無駄ではなく、中国語で言う「苦辣酸甜」の濃いものであって、高慢が打ち砕かれ、へりくだる事を多く学んだ歳月であった。

社会人になると、人間関係に悩み、教会の門を叩いた。それまでは、主の導きが至るところにあつたが、高慢になつている自分には気づくこともなかつた。

一九七三年頃、手話ができる大引牧師が牧会されている高知聖書教会に時々通い始めたが、なかなか霊の眼が開かれることはなかつた。大引師が、京都に去った後、私は「己を棚に上げて、人の批判ばかりしている自分の醜い姿」に気付かされ、本当に救われなければならぬのは自分なのだ!と思ひ知つた。イエス様の十字架を受け入れ、悔い改め、主を心から信じた。

一九七七年七月、よく晴れた日の太平洋で、上原師の手による洗礼を受けた。花を見ても、星を見ても、何を見ても、神様

の愛を感じて、涙が止まらなかつた。その後、詩集「その愛は海のごとく寄せて」を出版、良い証本として、用いられた(現在は絶版)。

「心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。あなたが行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」

(箴言三章五節)

常にこの御言葉を中心に刻んで、信仰生活を送るようになった。他の人とは違う形で中国留学の道が開かれたり、廃人になりかけるほどの大きな事故に遭つても、なお我を助けて生かして下さつたりと、神様からの恵みは尽きない!

「あなたがたが年をとつても、わたしは同じようにする。「あなたがたがしがらになつても、わたしは背負う。わたしはそうして来たのだ。なお、わたしは運ぼう。わたしは背負つて、救い出そう。」(イザヤ四六章四節)

●四コマ、イラスト、写真や証など募集中。所属教会の牧師を通して、松山神愛キリスト教会まで送ってくださいね!